

# WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】

〒197-0832 東京都あきる野市上代継600  
東京サマーランド スポーツクラブハウス  
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059

Rotary

第2580地区



世界に希望を生み出そう

ロータリアンの心に火をつけよう

“Get the Joy of Rotary”

東京秋川ロータリークラブ  
2023-24年度 22号

2024年1月18日  
第2357回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	46	26	19	1	57.78%

## 本日のテーマ

卓話 布村 浩二 様

## 次回以降のプログラム

1月 25日(木) 鶴翔の会  
2月 1日(木) 全員協議会

## 会長方針

希望ある未来に向かって 新しい一歩を！ ～One step to a lively club～

## 本日のお客様

- 菅生学園初等学校校長 東海大学菅生高校中等部校長 布村 浩二 様
- あきる野市 市議会議員 臼井 健 様

## お客様ご挨拶

・臼井市議よりお礼の訪問となりました。  
大谷翔平選手が全国の小学校に少年軟式用のグローブを3つずつ配布しました。寄付されたグローブの価値にふさわしい使い方をするために、子供たちにキャッチボールをしてもらうための協力が必要でした。そのために、ロータリークラブ、ライオンズ、青年会議所、ソロプチミスト、倫理法人会の5つの団体が力を合わせて軟式ボール24個(1校あたり)を12校に配布することができました。これにより、子供たちが長い間楽しんで使える環境が整いました。この強さに感謝して本日の訪問させていただきました。



布村 浩二 様



臼井 健 様

## 会長報告 齊藤 章浩 会長

次年度の国際ロータリーのテーマが『Rotary Magic』と決まりました。私たちは魔法の杖を振って、疑問を唱えるだけで、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。プロジェクトを終わるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたび、皆さんはマジック=魔法を生み出すという説明になっております。国際ロータリー会長テーマも決まり、いよいよ次年度も動き出しているようです。次年度の東京秋川ロータリークラブの委員の構成なども出るかと思っておりますので、どうぞ皆さんよろしくお願いたします。

1月16日(火)、あきる野商工会賀詞交歓会にご招待いただき、出席してきました。また翌日、1月17日(水)にあきる野青年会議所の賀詞交歓会にもご参加させていただきました。

先ほど臼井市議の方が言われた通り、1月24日(水)にボールの寄贈式があり、東秋留小学校に行っていました。4月27日(土)のロータリーデーは、イオンモールで行わせていただくことになりました。具体的な実行委員会を開催し、ロータリーデーに向けて計画を進めていきたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどお願いします。



## 幹事報告 坂谷 充孝 幹事

例会臨時変更のお知らせ

東京青梅RC

1月23日(火)→地区補助金プロジェクト事業に振替

日程: 1月21日(日) 場所: 立正佼成会青梅練成道場『笑いで元気に!子ども体操教室』

1月30日(火)→休会

訃報 東京福生RC 2001-02年度会長 富田 勝也 名誉会員 ご逝去 1月23日(火)通夜 1月24日(水)葬儀 セレモア立川会館  
ロータリー希望の風奨学金 風のたより 111号

## — SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **27,000円**

- ・進藤 晃 君 早退します
- ・坂谷 充孝 君 布村校長様、本日はようこそおいでくださいました。卓話を楽しみにしております。
- ・佐藤 旭克 君 妻の誕生祝いをいただいて
- ・榎本 義晴 君 本人誕生祝いをいただいて
- ・柳 新次 君 皆出席・在籍3年のお祝いをいただきまして。これからもがんばりまーす。

## — 卓話 — 菅生学園初等学校校長 東海大学菅生高校中等部校長 布村浩二様

**地域と共生させていただける学園作り** 自然環境豊かな中で、小中高、先を見通して育む生きる力

菅生学園初等学校校長 東海大学菅生高校中等部校長である布村 浩二 氏による、『地域と共生させていただける学園作り』自然環境豊かな中で、小中高、先を見通して育む生きる力という内容で卓話をいただきました。布村校長は東日本大震災のボランティア活動を通じて得た経験について語った後、菅生学園の教育理念と実践について説明いただきました。菅生学園では認知能力と非認知能力のバランスを重視し、自然豊かな環境の中で子どもたちの成長を支えている。また、地域との共生を大切に考えており、地域の教育資源を活用しながら、地域に貢献できる人材育成を目指しているとの内容のお話でした。

## 東日本大震災のボランティア活動を通じた経験

布村校長は東日本大震災後の2011年7月と12月に生徒たちを引率し、ボランティア活動に参加した。活動を通じ、生徒たちは被災地の厳しい現実を目の当たりにし、自分たちに何ができるかを考える機会となった。布村校長は、この経験の大切さを語り、今後も似たような活動を実施したいと述べた。

## 菅生学園の教育理念と実践

菅生学園では認知能力と非認知能力のバランスを重視している。自然豊かな環境の中で、子どもたち一人ひとりの発達段階に合わせ、非認知能力を磨きながら、認知能力もつけていく教育を心がけている。また、地域との共生を大切に考えており、地域の教育資源を活用し、地域に貢献できる人材育成を目指している。

◆編集 週報委員会 担当 柳 新次